

2023年12月20日
株式会社SVPジャパン

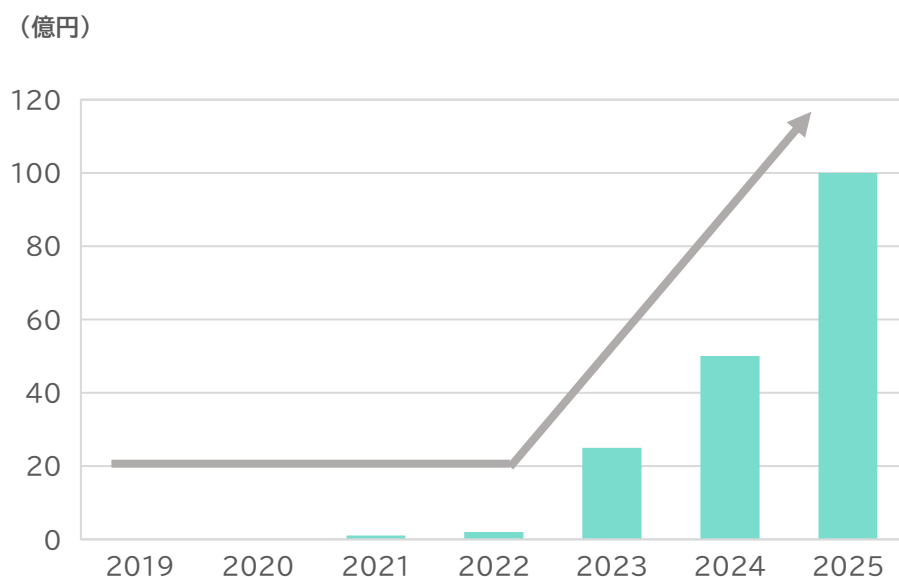
SVP注目市場分析 「治療用アプリ」を公開

～治療用アプリの普及により、医療費の抑制にも役立つ可能性大～



会員制マーケットリサーチサービスを提供している、株式会社SVPジャパン（本社：東京都中央区、代表取締役社長：橋本 雅、以下「SVPジャパン」）は、本日、SVP注目市場分析レポートの「治療用アプリ-国内市場の現状と将来展望-」について会員企業向けに公開いたしました。

■ 治療用アプリの国内市場



治療用アプリの2022年の市場規模は、保険償還価格（保険診療における公定価格）ベースで、約2億円であったと推定される。これまでに発売された治療用アプリはCureAppの禁煙治療用アプリ、高血圧症の治療用アプリの2製品のみであり、これらのアプリについても導入期にあることから、実際の市場規模としては未だ大きな拡大はみられていない。

2023年には、CureAppの治療用アプリの普及が進むことで、本格的な市場の拡大が始まると見込まれる。また、2024～2025年にかけては、すでに承認されているサスメドの不眠症向けの治療用アプリが本格的に展開される他、糖尿病、ADHD、うつ病を対象とする治療用アプリの発売が計画されている。

■治療用アプリの市場概況

「治療用アプリ」とは、特定の病気や症状の治療を受ける患者に対し、日常的なアドバイスを通じて行動変容や治療継続の意欲を促すことで、治療効果を得ることを目的としたスマートフォン・アプリである。

日本では、2014年に改正された薬機法により、ソフトウェアを「医療機器プログラム」として扱うことが認められた。このことが、新しい治療法として治療用アプリの開発が進むきっかけとなり、その後、数年の開発期間を経て、2020年に日本初の治療用アプリが発売された。

現状は、スタートアップが先行しているが、大手製薬企業を含めて、治療用アプリの開発に取り組む企業が増加している。その背景に、新しい治療方法として、治療用アプリに対する関心が高まっていることに加え、医薬品に比べ短期間（5～6年）で製品化が可能なこと、開発費が抑えられることが挙げられる。



■本レポートの構成

- I. 市場の定義
- II. 市場動向
- III. 市場規模・予測
- IV. マーケットシェア
- V. 参入企業の動向
- VI. 業界構造

■本レポートの購読について

本サービスのご利用は、SVP会員様限定でございます。

ご希望の場合は、当社SVP会員になっていただきますと、定期的に配信する市場調査レポートを全てご購入いただけます。なお、SVP会員は、ビジネス調査に関する、クイックリサーチとプロジェクトリサーチもご利用いただけます。

[お問い合わせは、こちらをクリック](#)



資料請求

お問い合わせ

[SVP会員の方は、こちらをクリック](#)



会員サイト

■次回のテーマ

1月のテーマは、「スマート農業」と「植物工場」を予定しています。

～SVP注目市場分析レポート更新スケジュール・・・毎月第1・第3水曜日の発刊を予定～

[会社概要]

社名 : 株式会社SVPジャパン
代表取締役 : 橋本 雅
所在地 : 東京都中央区日本橋蛸殻町1-38-9 宮前ビル2F
設立年月日 : 1974年7月1日
事業内容 : 会員制のビジネス情報提供サービス
URL : <https://www.svpjapan.com/>

[本プレスリリースに関するお問い合わせ先]

株式会社SVPジャパン デジタルマーケティング部
info@svpjapan.com